

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年3月14日（金）

2 確認箇所

Eタンクエリア（図1）

3 確認項目

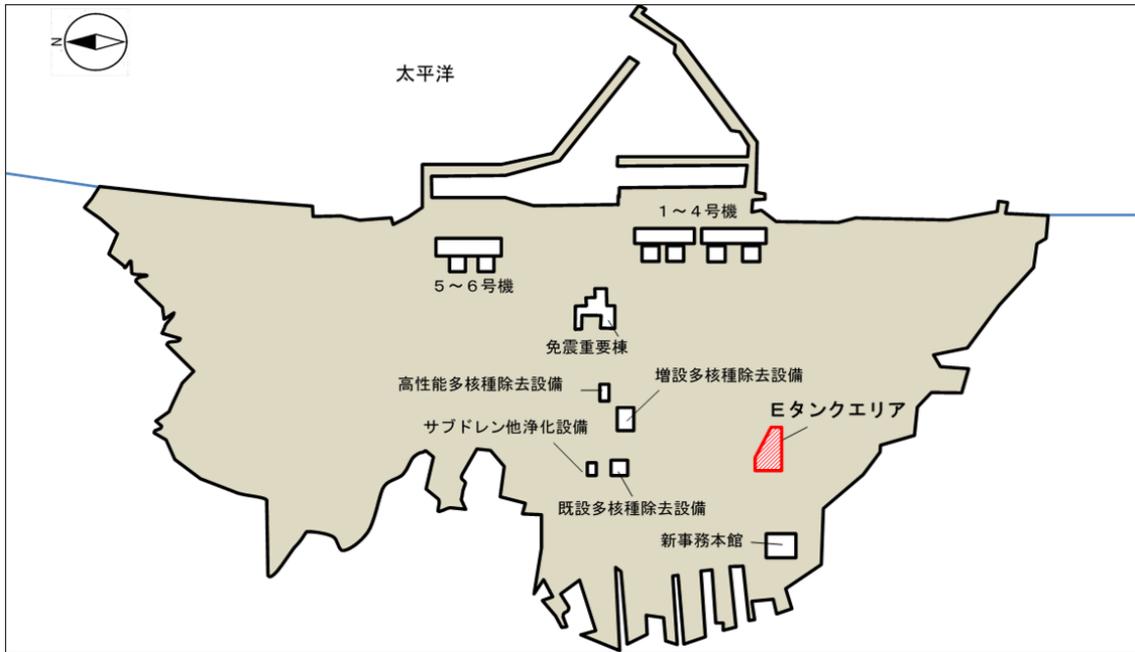
フランジ型タンクからのスラッジ回収作業の状況

4 確認結果の概要

Eタンクエリアでは、フランジ型タンクの解体作業が進められており、これまでに全49基中48基の解体が完了している。残る1基のD1タンクの底部残水（RO濃縮水）には、アルファ線放出核種が含まれており、底部残水の漏えいリスク低減のため、タンク内のスラッジ等の回収後に、タンク内壁を除染し、解体を行う計画となっている。

今回は、令和7年1月9日に開始されたスラッジ回収作業の状況を確認した。（前回確認日：令和7年1月17日）

- ・D1タンクの周囲にはR α ハウスが2つ設置されており、1つはD1タンク内へのアクセスとしての役割や、ポンプ操作を行う作業エリアとして、別のR α ハウスは、回収したスラッジをコンテナ内へ格納する作業エリアの役割として設けられていた。（写真1）
- ・R α ハウス内に設置されている線量計の校正日を確認し、有効期限内であることを確認した。（写真2）
- ・局所排風機、コンプレッサーの点検記録を確認し、適切に管理されていることを確認した。（写真3）
- ・発電機を確認した結果、オイルパンに水がたまっておらず、点検記録がチェックされている状態であり、防火対策が適切に実施されていた。（写真4）
- ・確認した範囲では、タンクや配管からの漏水などの異常は確認されなかった。
- ・東京電力によると令和7年4月までにスラッジの回収が完了する予定であり、その後タンク内面を除染し、令和7年12月までにD1タンクを解体する計画である。



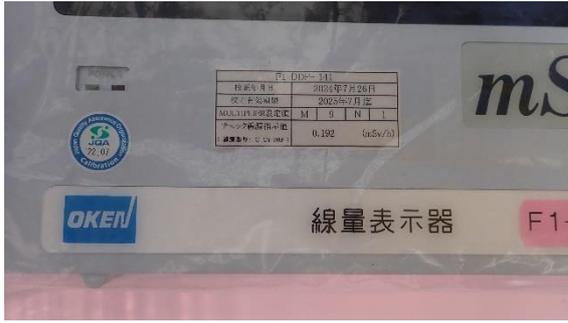
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
フランジタンク (D1タンク) の外観



(写真1-2)
Rαハウスの外観



(写真 2)
線量計の状況



(写真 3 - 1)
局所排風機の状況



(写真 3 - 2)
局所排風機点検記録の状況



(写真 3 - 3)
コンプレッサー点検記録の状況



(写真 4 - 1)
発電機の状況



(写真 4 - 2)
発電機点検記録の状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。